



GOLD LEAF 72C

EUA (Watkins Glen) 1970
First victory of Emerson Fittipaldi

1/20 High Tech Resin Kit
AMD 20007

www.amdmodels.com



1970年のグランプリレースは悲劇と栄光によって特徴づけられる。

ロータス 72 は この年、オーストリア人ドライバーのドライブによりスペインGPで初登場した。彼はこのシャーシで5レース中4レースに勝利を収めた。残念なことに、この栄光のシーズンは1970年9月5日、モンツァのイタリアGPの公式練習中、悲劇的にヨッヘン・リントの命を奪った事故によってその輝きを失った。

ロータスチームはあの日、レースを棄権した。リントはF-1レースのポイントリーダーにあっただにもかかわらず、そのタイトルはまだ確定していなかった。なぜならば、シーズン・オフまでにはまだカナダ、アメリカ及びメキシコの3レースが残っており、フェラーリをドライブするジャッキー・イクスがトップになる数学的なチャンスがまだ存在していたからである。

1970年シーズンのもう一つの歴史的出来事はイギリスGPにおいて Lotus 49C をドライブした若きブラジル人ドライバー、エマーソン・フィッツパルディの登場である。彼の才能と速さはロータスチームの全てのメンバー、特にその責任者コーリン・チャップマンを驚かせた。エマーソン・フィッツパルディは彼の出場した5レース目のワトキンスグレンサーキットで行われたアメリカGPで初勝利を獲得した。これはエマーソン・フィッツパルディのF-1ドライバーとしての初勝利であったとともに、F-1史上、重要な出来事であった。ジャッキー・イクスの40点に対し、既に45点を獲得していたヨッヘン・リントに死後、ドライバーズチャンピオンのタイトルを獲得させたからである。ロータスチームはエマーソン・フィッツパルディ が獲得した12点を含める計59点でコンストラクターズチャンピオンとなった。

ヨッヘン・リント は ロータス 49 C でモナコ GP を勝ち取ったほか、1970年シーズンにF-1史の中で最も有名なロータス72をドライブし、オランダ、フランス、イギリス、ドイツのレースで勝利した。

ロータスチームはこの車を1975年シーズンの最後まで使用した。したがって、1970年は、ロータス72 シャーシが使用された連続6シーズンの最初だったのである。

このキットはアメリカのワトキンスグレンにおいて エマーソン・フィッツパルディが初の勝利を飾った際に操縦したゴールドリーフ ロータス 72 C の完全な模型である。同シーズン内の他のレースで使用されたモデルのデカールもサービスとしてお付けしています。

組み立てる前
にお読み下さい。

★ よく読んで、説明書の内容を完全に理解してから組み立てを始めて下さい。

★ 小さいお子様の手の届かないように注意して下さい。

★ このモデルはコレクション用です。14歳以下の方には適しません。

★ このキットには接着剤や塗料は含まれていません。

★ 接着剤は瞬間接着剤系のみをご使用下さい。

★ 接着剤は少なめに使い、換気には充分注意して下さい。

★ レジンパーツの修正や補修にはポリバテをお使い下さい。

★ 旋盤加工を施されたパーツやレジンパーツは組み立てる前に部品の油分を完全に取り除くよう、ご注意ください。

★ 用意する工具: 接着剤、プラスチック用ケガキ針、キリヤ、はさみ、モデリングナイフ。

使用する塗料、番号はタミヤ塗料の番号です。:

TS-08 / イタリアンレッド / Italian red

TS-21 / ゴールド / gold

TS-26 / ビュアホワイト / pure white

X-7 / レッド / red

X-11 / クロームシルバー / chrome silver

X-12 / ゴールドリーフ / gold leaf

X-18 / セミグロスブラック / semi gloss black

X-23 / クリアブルー / clear blue

X-24 / クリアイエロー / clear yellow

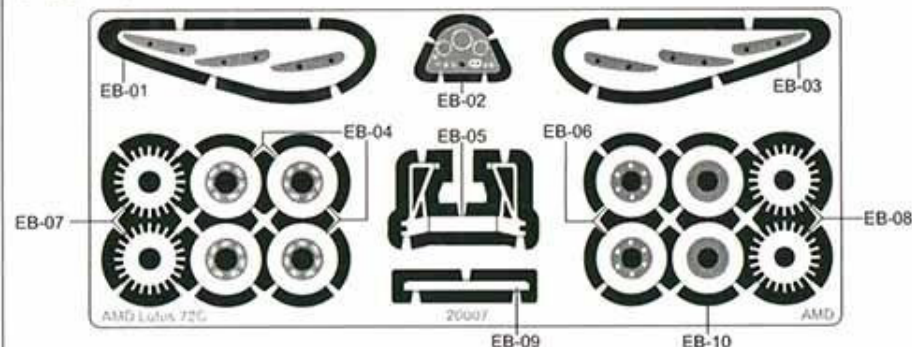
XF-8 / フラットブルー / flat blue

XF-16 / フラットアルミ / flat aluminum

XF-56 / メタリックグレイ / metallic grey

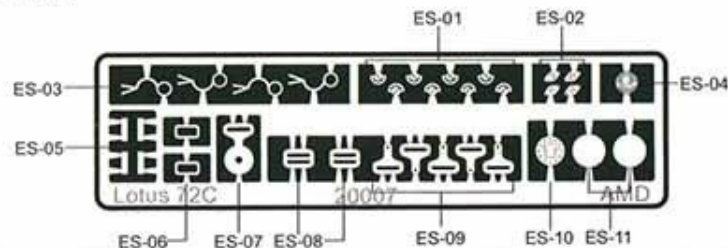
他の参考資料を入手するためには ウェブサイト www.amdmodels.com をご訪問下さい。

真鍮エッチングパーツ



スチールエッチングパーツ

プレートに固定されているフォトエッチング・スチールパーツは組み立て前に紙やすりで磨いて下さい。



ロータス72Cの成績

1970

DNS = スタートしなかった
DNF = 完走しなかった

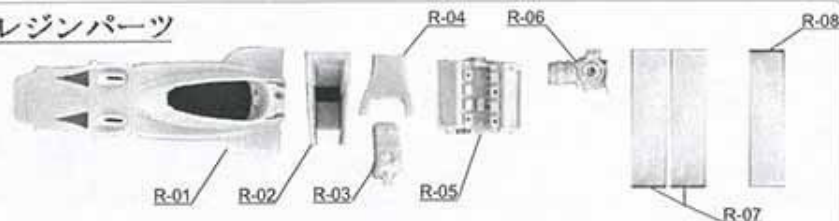
DNQ = 予選不通過
DSQ = 予選出走せず

レース	スタートナンバー	ドライバー	カーシャシ	成績
Spanish GP	19	J. Miles	Lotus 72/1	DNF
	3	J. Rindt	Lotus 72/2	8th.
Monaco GP	2T	J. Miles	Lotus 72/1	DNQ
Belgian GP	21	J. Miles	Lotus 72B/1	DNF
Dutch GP	12	J. Miles	Lotus 72B/1	8th.
	10	J. Rindt	Lotus 72C/2	1st.
French GP	7	J. Miles	Lotus 72B/1	18th.
	6	J. Rindt	Lotus 72C/2	6th.
British GP	6	J. Miles	Lotus 72B/1	7th.
	5	J. Rindt	Lotus 72C/2	1st.
German GP	2	J. Rindt	Lotus 72C/2	2rd.
	16	J. Miles	Lotus 72C/3	10th.
Austrian GP	6	J. Rindt	Lotus 72C/2	1st.
	7	J. Miles	Lotus 72C/3	1st.
Italian GP	22	J. Rindt	Lotus 72C/2	DNF
	24	J. Miles	Lotus 72C/3	DNF
	26	E. Fittipaldi	Lotus 72C/5	DNQ
U.S.A. GP	23	R. Wisell	Lotus 72C/3	3rd.
	24	E. Fittipaldi	Lotus 72C/5	1st.
Mexican GP	23	R. Wisell	Lotus 72C/3	10th.
	24	E. Fittipaldi	Lotus 72C/5	DNF

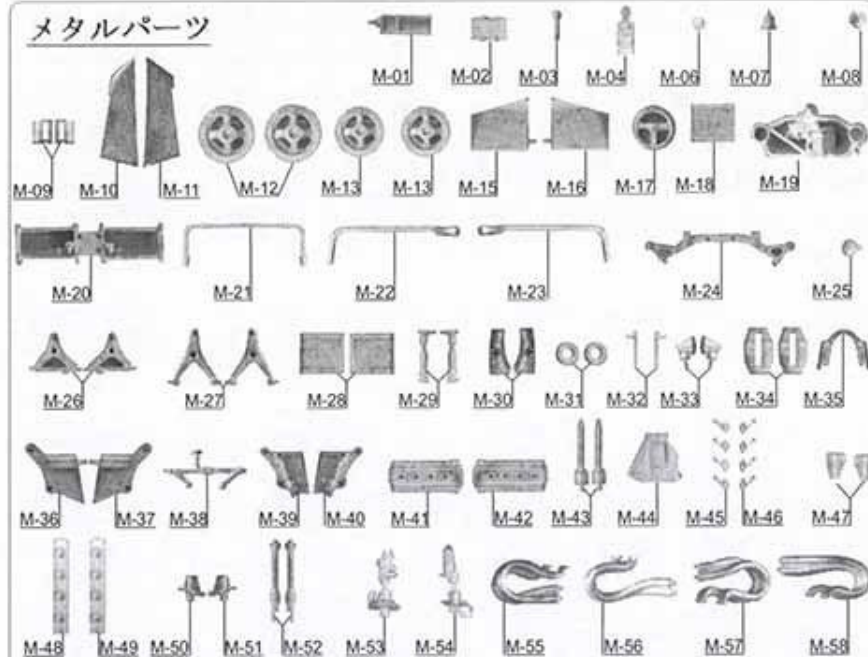
ドライバーズワールドチャンピオンシップ: J. Rindt (1st., Postmortem) 45 pts., E. Fittipaldi (10th.) 12 pts., R. Wisell (15th.) 04pts.
コンストラクターズワールドチャンピオンシップ: Lotus-Ford (1st.) 59 pts.



レジンパーツ



メタルパーツ



ラバーパーツ



スチールフィルター

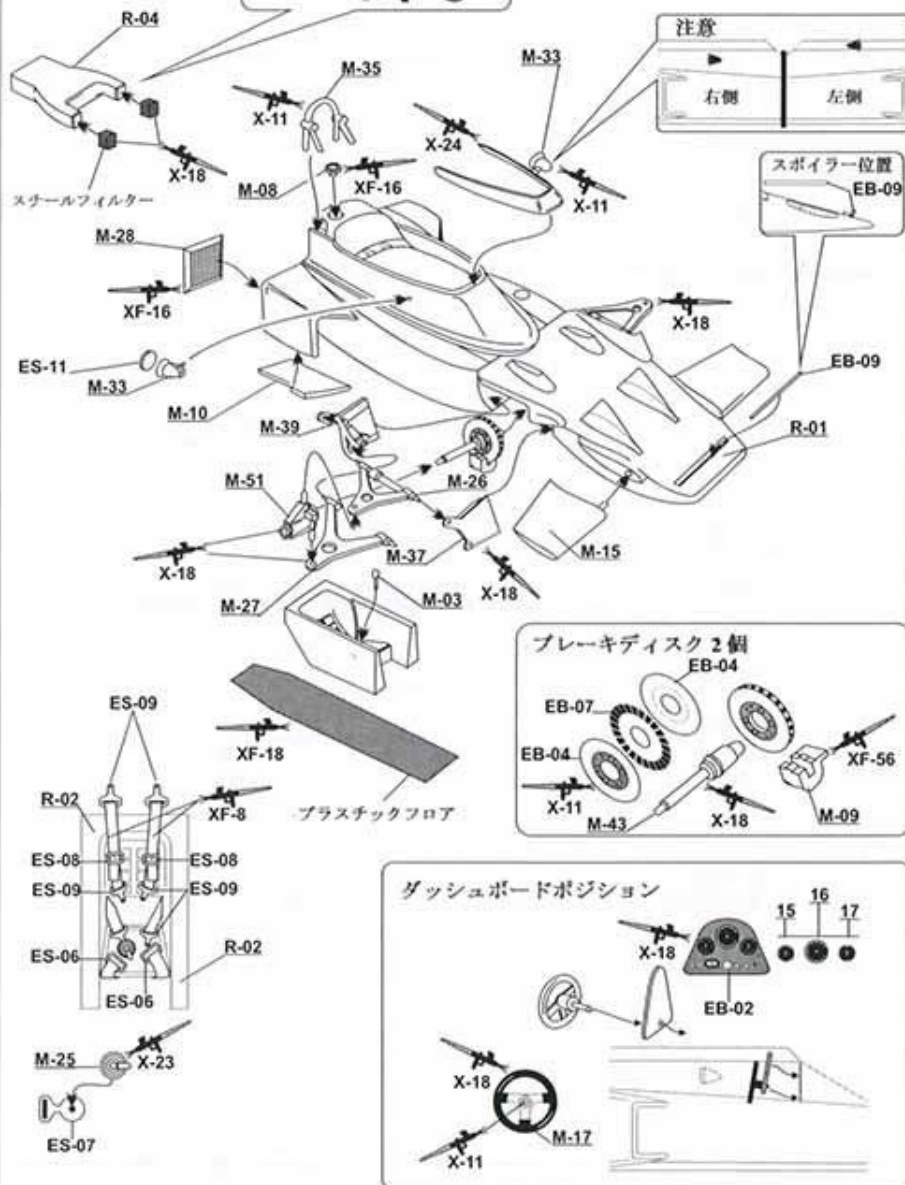


旋盤加工パーツ

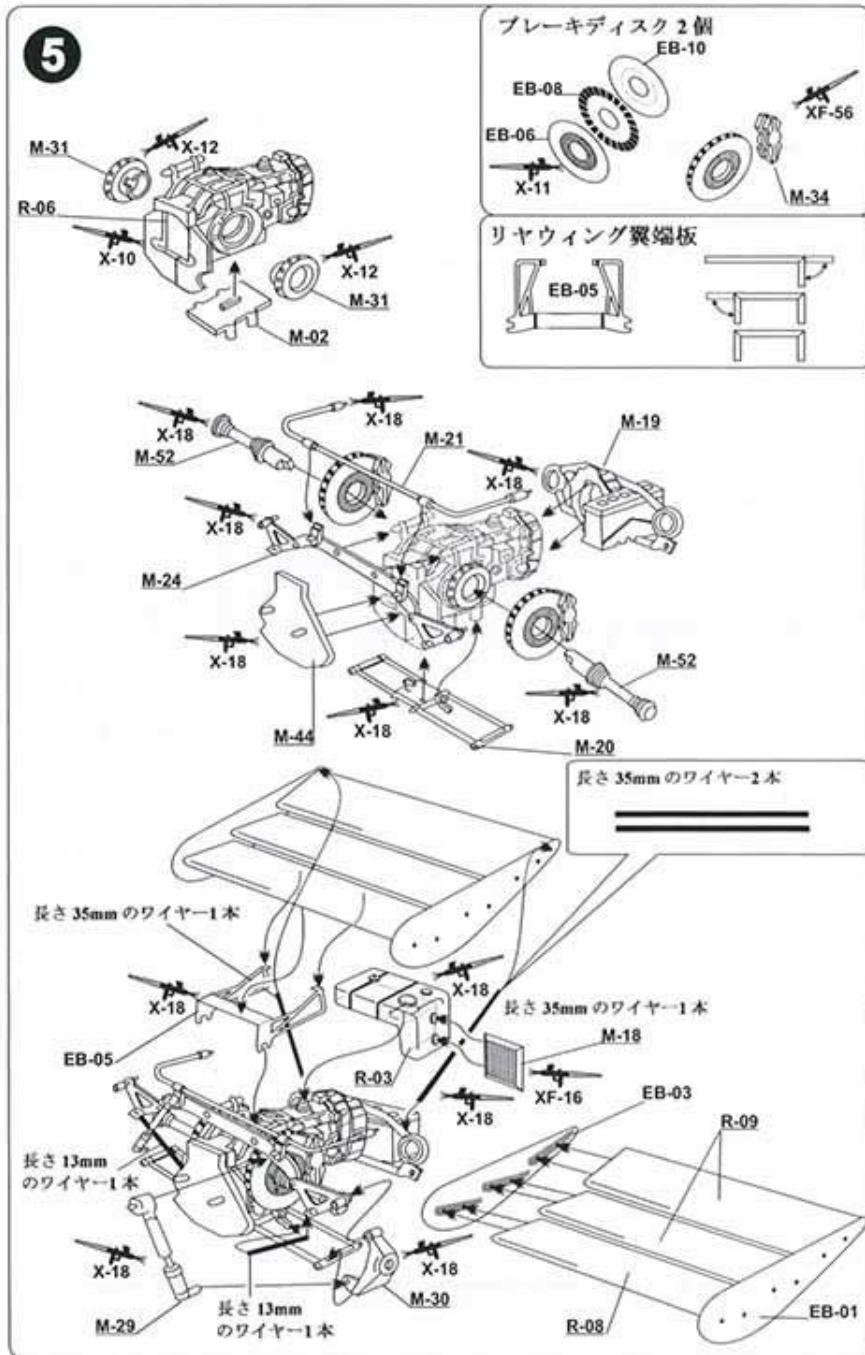


4

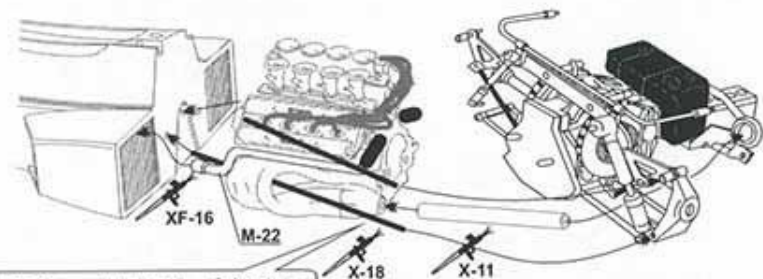
2mm幅のブラックテープを切って、フィルターのまわりに貼る。



5



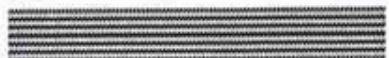
6



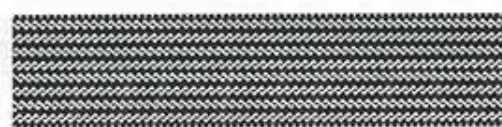
長さ 32mm のワイヤーを切る
ペンションアーム



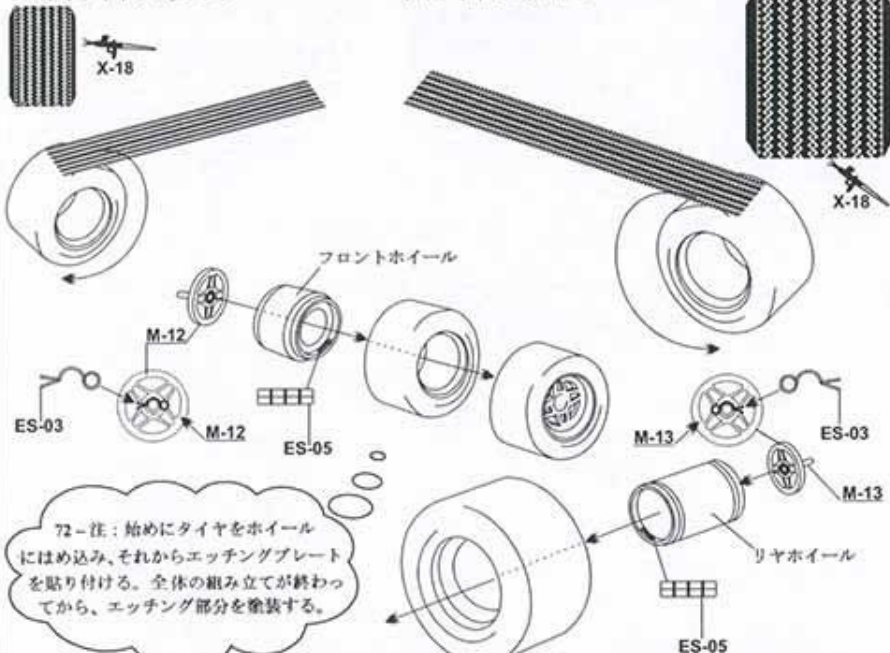
7 組み立てる前にタイヤを紙やすりで磨く



フロントタイヤのエッチング

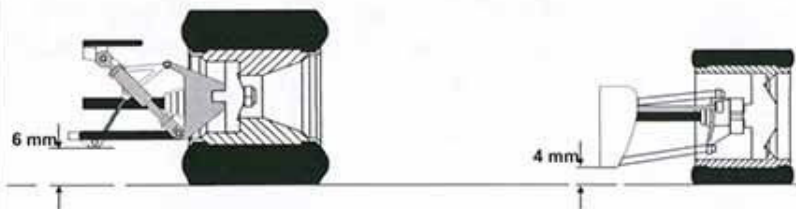


リアタイヤのエッチング



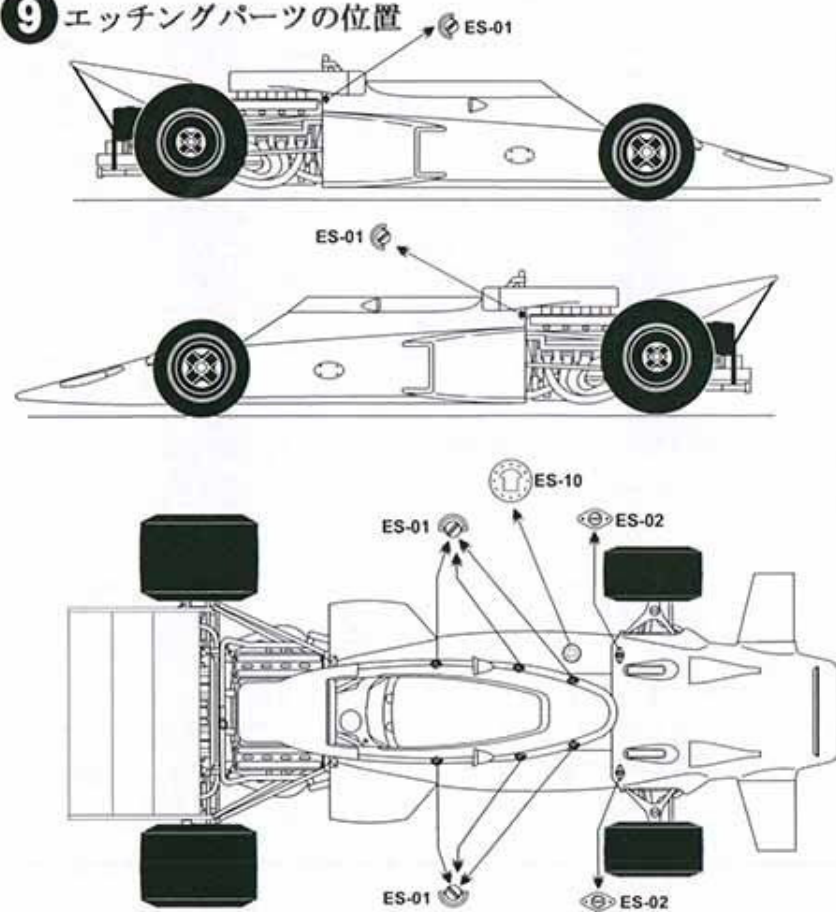
8

車高



9

エッチングパーツの位置



1970年米ワトキンスグレン GP のデカール位置

1970年の他のモデルの参考資料は www.amdmodels.com のウェブサイトにてご参照下さい。

